

## 平成27年度 事業報告 及び 収支決算

平成27年4月1日より平成28年3月31日まで

### 【 事業報告 】

世界経済は、先進国が総じて堅調さを保つものの、新興国・資源国経済の弱含みから減速傾向にある中で、我が国経済は経済諸指数が一進一退を続け、足元は踊り場にあると云われている。一方国際政治面では、昨年11月のパリ同時多発テロ以降、テロが世界各地で頻発しており、また、北朝鮮のミサイル・核開発問題等々、諸問題山積の状況にある。

こうした中で、機動隊員をはじめとした警察活動は、国民の安心・安全の確保に向けて弛みなく続いている。即ち災害警備派遣など常時相当規模の派遣が続く中で、特に平成28年度には、洞爺湖サミット以来8年振りとなる伊勢志摩サミットと関係閣僚会合を控え、その準備に余念がない状況にある。治安維持に懸命な取り組みを続けている全国機動隊員の皆さんに、改めて敬意と感謝を表したい。

当会の平成27年度の活動としては、昨年8月21日、「公益目的支出計画の実施完了の確認書」(内閣府)を受領し、平成24年4月1日の一般社団法人への移行認可に伴う総ての手続きを完了した。

また、創設40周年記念事業として平成26年度より実施した永年功労表彰については、会員資格継続30年以上の会員の方々を表彰した。

### I. 活動状況

#### 1. 弔意・見舞活動

平成27年10月29日に執り行われた「全国殉職警察職員・警察協力殉難者慰霊祭」に、小山相談役などが参加し、今回新たに合祀された殉職警察職員9柱、警察協力殉難者7柱を加えてその御霊に弔意を表した。

#### 2. 大規模警備支援

##### ①関東・東北豪雨

平成27年9月9日から11日にかけて、台風18号や台風から変わった低気圧に向かって南から湿った空気が流れ込んだ影響で、特に関東地方と東北地方では記録的な大雨となり、警察は、約3,000名の機動隊員をはじめとする警察官を災害警備に派遣した。当会としては、特に被害が甚大であった茨城・栃木・宮城の各県警察本部に、それぞれ栄養ドリンク1,000本を災害警備支援として寄贈した。

②広島及び長崎の平和祈念式典その他

例年通り、8月6日に開催された広島平和記念式典（広島市原爆死没者慰霊式並びに平和祈念式）の特別警備に従事する機動隊員等の皆さんを激励・支援すべく、栄養ドリンク1,000本を寄贈したことに併せ、本年度より新たに、8月9日の長崎原爆犠牲者慰霊平和祈念式典に向けて長崎県警にも同様の警備支援を開始した。また、その他地域の特別警備に対してもタイムリーな警備支援を実施した。

3. 文化体育活動

①全国優秀機動隊員の海外研修支援

警察庁警備局長より全国優秀機動隊員として表彰された都道府県の機動隊員90名による海外研修を支援した。25回目となる今回の研修先はマレーシアとなり、平成28年2月15日から18日まで3泊4日で実施された。

②警視庁機動隊観閲式

平成27年5月20日、例年通り明治神宮外苑絵画館前で挙行され、機動隊員総勢1,315名が行進し、高綱警視總監の観閲を受けた。当会からは、鈴木副理事長・小山相談役をはじめ7名が出席して、機動隊員を激励した。

③本部におけるその他の主な激励支援

平成27年	7月2日	警視庁災害警備総合訓練	(江戸川河川敷)
	8月8日	全国警察空手道大会	(神奈川スポーツセンター)
	9月1日	東京都・立川市合同総合防災訓練	(国営昭和記念公園)
	11月17日	全国警察逮捕術大会	(警視庁術科センター)
	11月25日	警視庁機動隊断郊競走大会	(あきる野市)
平成28年	1月27日	警視庁警備部武道始式	(警視庁術科センター)
	3月15日	警視庁機動隊新隊員合同警備訓練	(夢の島警備訓練場)

④支部における激励支援

支部においても、慰霊式・観閲式・管区広域緊急援助隊総合訓練・警察柔剣道大会・機動隊祭り・警察ふれあいフェスタ・餅つき大会等々、機動隊をはじめとする警察関連諸行事への参加が着実に増加しつつある。

4. 会員と機動隊員との交流激励会

全国9カ所の本部・支部の総てで交流激励会を開催して、多数の機動隊員と警察幹部にご出席頂いた。各地での激励会においては、警備活動や訓練に明け暮れている機動隊員を支部会員が慰労・激励すると共に、管区警察局長や道府県警察本部長をはじめとする警察幹部の方々との懇親を深めることができた。

また多くの支部激励会において、本部及び当該支部以外の役員・会員の参加が増え支部毎の運営の特徴・相違が大きな刺激になるなど、支部相互間の情報交換が一段と活発化してきた。

★各支部の総会・激励会の開催

平成 27 年	5 月 25 日	東北支部	(アークホテル仙台青葉通り)
	5 月 27 日	北海道支部	(札幌パークホテル)
	6 月 16 日	九州支部	(博多サンヒルズホテル)
	10 月 27 日	中国支部	(ANA クラウンプラザホテル広島)
	11 月 24 日	北陸支部	(新潟グランドホテル)
平成 28 年	2 月 5 日	千葉支部	(ヴェルシオーネ若潮)
	2 月 15 日	名古屋支部	(メルパルク名古屋)
	2 月 22 日	大阪支部	(住友ビルレストラン)

5. 月次朝食講演会の実施

朝食講演会をホテルグランドアーク半蔵門（千代田区）で、次表の通り合計 10 回開催した。出席者総数は、平成 23 年度の 507 名から毎年順調に増加しており、929 名と、初めて 900 名の大台に到達した 26 年度を更に上回った。

また講演録は機関紙「はげまし」に掲載し、広く機動隊員の方々や会員の知見に役立てた。

★朝食講演会の開催

4月	岡 素之	住友商事株式会社 相談役		規制改革について
5月	堀内 光一郎	富士急行株式会社 社長		世界文化遺産登録後の富士山
7月	平田 直	東京大学地震研究所 地震予知研究センター長		首都圏直下地震について
9月	下川 勝久	株式会社デンソー 専務役員	生産革新センター担当	デンソーのモノづくり
10月	加藤 泰浩	東京大学大学院工学研究科 教授	海洋研究開発機構 招聘上席研究員	南鳥島V77-ス泥鉱床の開発による日本の成長戦略
11月	斉藤 実	警察庁 長官官房審議官（警備局担当）		伊勢志摩サミットについて
12月	樋口 建史	ミャンマー大使	(第89代警視總監)	ミャンマー情勢について
1月	土屋 光章	みずほ総合研究所 社長		2016年の内外経済見通し
2月	神津 里季生	日本労働組合総連合会 会長		「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて
3月	蓮池 薫	新潟産業大学 経済学部 准教授	拉致被害者	夢と絆 ―拉致問題の本質と解決への道―

6. 普及・啓蒙活動

①機関紙「はげまし」の発行

例年通り、全国の機動隊員の警備状況や訓練状況、本部・支部の総会・交流激励会の状況、朝食講演会の講演録を中心に編集し、年間 11 回発行した。

毎回 4,700 部を、全会員と全国の機動隊員等警備部門に送付し、好評を得ている。

## ②ホームページの充実・更新、カレンダーの発行

ホームページについては、随時掲載内容を更新し、最新情報をタイムリーに掲載すると共に、創設 40 周年記念企画として開始した、過去の総ての機関紙の閲覧可能化（HP 上での総収録の作成）については、既に過半を終了し、28 年度中には完了する予定である。

カレンダーについては、1,500 部を作成し、会員及び全国の警察警備関係部門に配布した。

## II. 会員の異動状況

平成 27 年度の会員異動状況については、会員各位のご協力により、新たに法人 7 会員、特別個人 3 会員、及び個人 32 会員に加入頂いた。しかしながら他方で、法人で 10 会員、特別個人で 7 会員、更に個人で 65 会員もの退会があり、総計では 40 会員もの減少となって、2 年続いた増加から一転大幅減少を余儀なくされた。特に個人会員の退会事由としては、「退任・退職、高齢、ご逝去」が大半となっており、創設 42 周年を迎える中で、個人会員の高齢化が一段と顕著に現れている。

当会が、今後とも社会貢献活動としての機動隊員等を励ます事業を継続し活性化させていくためには、会の目的・趣旨に賛同し活動に参加して頂ける新たな会員・若い会員を何としても着実に増やして、財政基盤を安定させていくことが不可欠である。幸い若い世代の会員の中で自主的な勉強会も活発化しつつあるが、新規会員の増大による円滑な世代交代が図られるよう、会員の皆様には一層のご理解とご協力をお願いしておきたい。

### 会員の異動状況

(平成 27 年 3 月 31 日より平成 28 年 3 月 31 日)

会員区分	平成27年3月31日	加入	退会	差引増減	平成28年3月31日
法人	234	7	10	-3	231
特別個人	115	3	7	-4	111
一般個人	1,040	32	65	-33	1,007
合計	1,389	42	82	-40	1,349

## 【 収支決算 】

(決算額は総て切捨て表示)

平成 27 年度の決算は、経常収益 53,347 千円に対して、経常費用 52,961 千円と、差し引きの当期経常増減額（当期一般正味財産増減額）は、386 千円と、平成 14 年度以来、13 年振りの黒字となった。これは、本部での事務費削減は勿論、支部段階でも世話人の方々には木目細かい費用削減に努めて頂いたことと、また会員会社の賛助広告料が大幅増収となったことが大きく寄与しており、会員各位のご協力に改めて御礼を申し上げておきたい。

この結果正味財産は、期首 48,390 千円から期末 48,776 千円と 386 千円の増加となった。

27 年度決算を前年度と比較すると次の通りである。（次頁「正味財産増減計算書」参照）  
収入面（経常収益）では、315 千円の増収となった。具体的には、高齢会員の退会が相次いだことなどから、受取年会費は 505 千円の減収となったが、他方、賛助広告料が 860 千円の増収と、これを補った。

支出面（経常費用）では、文化体育活動費が、全国優秀機動隊員海外研修支援で行先の変更等により、支援規模は維持しつつも 3,743 千円と大幅削減となった一方で、交流激励会活動費は各支部の参加者の増加などにより 668 千円の増加となった。管理費関係では、朝食講演会会場費の値上げ等に伴い会議費が 754 千円の増加となったが、引き続きその他の事務費削減に努め、経常費用全体では、2,405 千円の支出減となった。

この結果、経常収益から経常費用を差し引いた当期経常増減額は、386 千円と赤字脱却を果たし、当初予算の△2,000 千円からは、大幅な収益改善となった。

なお今回の決算から、経常費用における事業費・管理費の区分を廃止して費目の統一・簡素化を図った。この区分は、当会が、平成 24 年 4 月 1 日以降、一般社団法人へ移行するに当たり、内閣府より公益目的財産額の支出に関する「公益目的支出計画」の提出を求められる中で、事業会計（機動隊員等激励事業）の一般正味財産増減額を算出する為、必須であったが、26 年度決算報告により、昨年 8 月 21 日、「公益目的支出計画の実施完了の確認書」（内閣府）を受領したことから、事業会計・管理会計の区分が不要となったものである。

また、定款第 37 条により、定時総会終了後直ちに、平成 27 年度決算の貸借対照表の骨子を官報に公告する。

正味財産増減計算書

平成27年 4月 1日から平成28年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	35,355,000	35,860,000	△ 505,000
新規会員受取会費	380,000	855,000	△ 475,000
継続会員受取会費	34,975,000	35,005,000	△ 30,000
講演会料	3,618,000	3,556,000	62,000
講演会料	3,618,000	3,556,000	62,000
事業収益	14,156,000	13,282,730	873,270
激励会参加料	9,116,000	9,102,730	13,270
賛助広告料	5,040,000	4,180,000	860,000
雑収益	218,666	333,178	△ 114,512
受取利息	13,066	13,126	△ 60
雑収益	205,600	320,052	△ 114,452
経常収益計	53,347,666	53,031,908	315,758
(2) 経常費用			
弔慰見舞金	2,948		2,948
大規模警備支援費	607,880	703,000	△ 95,120
文化体育活動援助費	8,641,535	12,385,463	△ 3,743,928
交流激励会活動費	17,568,136	16,899,669	668,467
機関紙発行費	6,002,084	5,985,281	16,803
カレンダー発行費	1,126,356	1,260,407	△ 134,051
会議費	5,618,669	4,863,673	754,996
給与手当	7,024,352	7,092,861	△ 68,509
福利厚生費	1,127,608	1,040,713	86,895
旅費交通費	1,993,997	1,942,007	51,990
通信運搬費	714,500	690,847	23,653
消耗品費	698,403	560,117	138,286
新聞図書費	209,063	209,063	0
印刷製本費	162,390	384,109	△ 221,719
賃借料	849,312	713,265	136,047
諸謝金	352,840	363,640	△ 10,800
租税公課	70,000	70,000	0
支払手数料	162,537	171,273	△ 8,736
雑費	28,572	31,560	△ 2,988
経常費用計	52,961,182	55,366,948	△ 2,405,766
当期経常増減額	386,484	△ 2,335,040	2,721,524
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計			0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	386,484	△ 2,335,040	2,721,524
一般正味財産期首残高	48,390,477	50,725,517	△ 2,335,040
一般正味財産期末残高	48,776,961	48,390,477	386,484
II 正味財産期末残高	48,776,961	48,390,477	386,484

貸 借 対 照 表

平成28年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	21,923,048	21,430,570	492,478
未収入金	744,000	758,000	△ 14,000
流動資産合計	22,667,048	22,188,570	478,478
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
はげまし基金積立資産	50,000,000	50,000,000	0
特定資産合計	50,000,000	50,000,000	0
(2) その他固定資産			
電話加入権	59,042	59,042	0
その他固定資産合計	59,042	59,042	0
固定資産合計	50,059,042	50,059,042	0
資産合計	72,726,090	72,247,612	478,478
II 負債の部			
流動負債			
前受金	23,715,000	23,520,000	195,000
預り金	34,129	137,135	△ 103,006
賞与引当金	200,000	200,000	0
流動負債合計	23,949,129	23,857,135	91,994
負債合計	23,949,129	23,857,135	91,994
III 正味財産の部			
一般正味財産	48,776,961	48,390,477	386,484
(うち特定資産への充当額)	(50,000,000)	(50,000,000)	( 0)
正味財産合計	48,776,961	48,390,477	386,484
負債及び正味財産合計	72,726,090	72,247,612	478,478

## 財務諸表に対する注記

### 1. 継続企業の前提に関する注記

継続事業の前提に対する重要な疑義を生じさせるような事象または状況は存在していない。

### 2. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

賞与引当金…職員の賞与給付に備えるため、支給見込額のうち、当期に帰属する金額を計上している。

#### (2) 消費税等の会計処理

税込方式で行っている。

### 3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
はげまし基金積立資産	50,000,000			50,000,000
合 計	50,000,000	0	0	50,000,000

### 4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
特定資産				
はげまし基金積立資産	50,000,000	-	(50,000,000)	-
合 計	50,000,000	-	(50,000,000)	-



## 附属明細書

### 1. 特定資産の明細

財務諸表の注記に記載しているとおりであります。

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	200,000	200,000	200,000	0	200,000

**財 産 目 録**

平成28年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)	現金 預金	手元保管	運転資金として	12,678	
		普通預金	運転資金として		
		三菱東京UFJ銀行蒲田駅前支店		15,770,214	
		三井住友銀行六郷支店		207,901	
		みずほ銀行蒲田支店		1,021,390	
		三菱東京UFJ銀行札幌中央支店		72,493	
		岩手銀行仙台営業部		531,260	
		三井住友銀行新潟支店		7,567	
		三菱東京UFJ銀行銀座通支店		76,588	
		三菱東京UFJ銀行名古屋営業部		516,066	
		三井住友銀行西野田支店		52,936	
		広島銀行八丁堀支店		24,166	
	西日本シティ銀行博多駅東支店		220,720		
	振替貯金				
	六郷土手郵便局		3,409,069		
	未収入金	会員に対するもの	講演会料未収分	224,000	
		会員に対するもの	賛助広告料未収分	520,000	
流動資産合計				22,667,048	
(固定資産)	特定資産	はげまし基金 積立資産	定期預金	機動隊員等激励事業に 使用している	
			三菱東京UFJ銀行蒲田駅前支店		20,000,000
	みずほ銀行蒲田支店	30,000,000			
その他固定資産	電話加入権	事務局設置分		59,042	
固定資産合計				50,059,042	
資産合計				72,726,090	
(流動負債)	前受金 預り金 賞与引当金	会員受取会費		23,715,000	
		職員に対するもの	源泉税等預り金	34,129	
		役員・職員に対するもの	役員・職員に対する夏 期賞与の支払に備えた もの	200,000	
流動負債合計				23,949,129	
負債合計				23,949,129	
正味財産				48,776,961	

# 監 査 報 告 書

平成28年5月19日

一般社団法人機動隊員等を励ます会

理事長 羽矢 惇 殿

監事 岩井 榮三

監事 坂東 稔



私ども監事は、一般社団法人機動隊員等を励ます会の定款第22条（監事の職務及び権限）に基づき、平成27年4月1日から平成28年3月31日までの平成27年度における業務及び会計についての監査を実施した。

その結果につき、定款第33条（事業報告及び決算）に基づき次のとおり報告する。

## 1 監査の方法の概要

私ども監事は、毎月常任理事が作成する「月次収支報告書」を閲覧・チェックし、毎月の法人の全ての収支と資産状況について監査してきた。

同月次収支報告書には、月次の正味財産増減計算書と貸借対照表ならびに全ての収支にかかわる個別伝票の原票と領収書、全預貯金口座通帳の入出金記録の写しと支払請求書類が添付されているため、毎月の業務執行状況及び全会計科目の内容について監査が網羅的に実施できた。

さらに、私ども監事は理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取する他、上記の月次収支報告書以外の業務関係書類の提出・閲覧や事業執行状況の報告など、必要と思われる監査手続きを適宜実施し、業務執行の妥当性を検討してきた。

また、今次決算に際しては、財務諸表等（貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記、附属明細書）及び財産目録について、検討を加えた。

## 2 監査の結果

- (1) 法人の業務執行及び理事の職務遂行については、法令、法人の定款及び事業計画等に基づき、適正に運営されていると認める。
- (2) 事業報告の内容は、法人の業務運営の状況を正しく示しているものと認める。
- (3) 財務諸表等及び財産目録は、必要な事項を正しく示しているものと認める。

以 上